

フレやまぐち!

2019年女子7人制ラグビーの
国内最高峰シリーズ・チャンピオン

ながとブルーエンジェルス



日本開催のワールドカップラグビーで盛りあがった2019年。女子7人制ラグビーの国内最高峰リーグ「太陽生命ウィメンズセブンスシリーズ」で、見事年間王座に輝いたのが「ながとブルーエンジェルス」です。「Linking Our World」(世界と繋がる)をスローガンにラグビーを通じて国際交流をすることを目的に2017年9月にチームが発足。チーム名は市民から公募し、エンブレムやジャージはエヴァンゲリオンでおなじみの(株)カラー所属のアニメ監督の前田真宏さんがデザインしました。2017年の入れ替え戦を経て、常時参戦可能なコアチームにステップアップ。2019年には参戦わずか2年目にして全4大会中2大会で優勝を勝ち取り、見事年間総合優勝を勝ち取り、年間MVPには27トライを挙げたタイシャ・イケナシオ選手が選ばれました。連覇を目指す今年は、残念ながら新型コロナウイルスの影響で全試合キャンセル。来年の東京オリンピックに向けて長門からオリンピック選手を排出することを目指しています。



知っ得ポイント

先生はブルーエンジェルス

ラグビーだけでなく地域との連携強化を目指しているブルーエンジェルス。スポーツ交流やラグビー教室だけでなく、外国人選手は英語の補助教員として長門市内の小学校などで活躍しています。

チームデータ

- ホームタウン:長門市
- 所在地:専用クラブハウス(長門市仙崎)
- 種別:女子7人制ラグビー
- リーグ:太陽生命ウィメンズセブンスシリーズ他
- 創立:2017年9月
- ヘッドコーチ:Edwin Cocker
- 公式サイト:<https://blueangels.jp/>

文豪山口

コロナ禍の今だからこそ
心に響くみすゞの想い

金子みすゞ



童謡詩人金子みすゞは明治36年、現在の長門市仙崎で生まれました。高等女学校を卒業し、下関の書店で働き始めた頃、金子みすゞの名で童謡詩を投稿しはじめ、大きく才能を開花させました。彼女の書く詩はあらゆる命の大切さを詠った温かいもので、詩人西條八十にも「若き童謡詩人の中の巨星」と賞賛されるほどでした。その後結婚し、子供をさざかりましたが、夫との価値観の違いから4年で離婚。前夫に子供を渡すことに抗議し、わずか26歳で自らこの世を去ったのです。死後半世紀を経て全集が刊行されて以降、広く知られるようになり、平成23年の東日本大震災後にTVCMで放送された「こたまでしょうか」が多くの人の心を打ちました。令和が始まって2年目。コロナ禍で人の関わりの重要性が身にしみてわかった今年。みすゞの詩は再び人々の心に大きく響くことでしょう。写真提供:金子みすゞ著作保存会



金子みすゞ記念館
山口県長門市仙崎1308
TEL 0837-26-5155
FAX 0837-26-5166

雑学ヤマグチ

山口県にしかない
オリジナル柑橘
長門ゆずきち



山口県の柑橘というと萩の夏みかんや周防大島の温州みかんなどが有名ですが、山口県オリジナルの柑橘があるのを知っていますか?それが「長門ゆずきち」です。新しい果物は交配されて作られるものが多いのですが、これは旧田万川町(元萩市)に古くからあったもので、宇樹橘(ゆずの仲間)とは違うことが鑑定され、長門ゆずきちという名前がつけられました。カボスやスタチの仲間、大きさはゴルフボールよりやや大きく、青々とした緑色が美しい果実です。毎年8月中旬から10月中旬くらいまで収穫されます。食べ方は刺し身、鍋、焼き魚、酢の物、焼酎に絞ったりなど色々使えます。加工品としてジュースやサイダー、アイスクリームなどの香り付けにも使われています。



道の駅
センザキッチンなどで
販売されている
長門ゆずきちを使った
加工品。